

梅ノ辻クリニックは、頭痛に力を入れているクリニックとして、皆様に頭痛のいろいろな情報を提供してゆきたいと思います。



トピックス



片頭痛の薬：トリプタン

現在(2009年6月現在)片頭痛の治療薬として、多くの片頭痛の方が服用されているトリプタン製剤は5種類あります(イミグラン、ゾーミック、レルパックス、マクサルト、アマージ)。2000年にイミグランの注射剤が初めて発売されてから9年経つこととなります。これらの薬は剤型が豊富で、錠剤、口腔内速溶錠(崩壊錠)、点鼻、注射、さらに自分で注射できる自己注射剤もあります。発売当初から片頭痛に対して非常によく効くということで、大きな期待をもって登場しました。実際、片頭痛の治療はトリプタンの登場によって大きく変わり、ひたすら我慢するしかなかった多くの患者さんが救われるようになりました。また、それまでは片頭痛が始まるころに飲まない薬の効果はないといわれていましたが、トリプタンは、片頭痛の痛みが始まってから時間が経過した後も効くことが期待されました。しかしやはりトリプタンといえども、痛みの始まるころに飲むのが最も効果的です。片頭痛は頭蓋内の血管が膨らむことによって生じるとされており、トリプタンはその血管を収縮させることにより、効果を発揮します。この5種類のトリプタンはそれぞれ特徴があります。1種類で効かないときも、他のトリプタンで効くこともあります。また片頭痛以外の頭痛にはトリプタンは効きません。専門医とよく相談して自分にあった薬を見つけましょう。

■ 頭痛相談 Q & A

30歳代女性の質問

Q: 私はひどい頭痛もちですが、トリプタンを飲むと気分が悪くなります。せっかくいい薬と期待していたのに、どうすればいいでしょうか。

A: そうですね。トリプタンが合わないという人は時々あります。そのような時は、まず第一に異なる種類のトリプタンを試してみることです。あるトリプタンがだめでも、他種類のものでうまく治療できることがあります。それと片頭痛の頻度が高くなっている人や、とくに生理時に生じる頭痛には効かないことがあります。またトリプタンは通常の鎮痛薬と一緒に飲んでもいいのです。吐き気止めと一緒に飲むということも、ひとつの方法です。このようにいろいろな方法がありますので、じっくり自分に合う飲み方を見つけましょう。

■ 頭痛に悩んだ人びと

花山(かざん)天皇(第65代天皇968~1008)

花山天皇は雨になると醜い頭痛に苦しんでいました。

稀代の陰陽師・阿部清明の見立てによると、「花山天皇は前世が行者で、前世の功德によって天子の身として生まれたが、前世のドクロが岩の狭間に落ちはさまって、雨の時には岩が膨らんで間がつかまるのだから、今生ではこのように痛むのです。」そこで、人を谷に遣わしたところ、清明の言うとおりで、供養したところ、頭痛は治りました。

(頭痛大学HPによる)